

まだ間に合う

# LRT計画は中止を!!

## 党派超え、市民と結束

### 金子氏支援へ「求める会」設立

LRT事業中止を訴える政治団体「LRTの中止を求める会」の設立大会が、6日市内で開かれ、日本共産党もその構成団体として参加しました。

「求める会」は「LRTよりも教育・医療・福祉の充実を！」を基本政策としている金子氏を支援するため共産、民進、社民、緑の各政党とLRT計画に反対するLRT問題連絡会、LRTに反対し公共交通を考える会などで発足、今後も広く呼びかけていくとしています。

この日の設立大会では、各団体の代表など約50人が参加し、田城郁氏(民進党県連副代表)を代表に選出しました。



金子とおる氏と固い握手をかわす  
各政党・市民団体の皆さん

「LRTよりも教育・医療・福祉の充実を訴え、市政の転換を！」

止まって、市民の声に耳を傾けるべきです。LRTよりも教育・医療・福祉の充実を！と広く訴えていきたい。この立場で市長選挙を闘えることを大変嬉しく思い感謝の気持ちでいっぱいです。皆さんと力を合わせて悔いのない闘いをしたい」と力強くあいさつを述べました。



「力を合わせて悔いのない闘いを！」

各団体からの激励にこたえ、金子とおる氏は、「多くの市民の皆さんが、膨大な税金を投入するLRT建設に疑問を持っています。一度立ち

日本共産党からあいさつに立った福田くみ子市議は、「この4年間に3度にわたってLRTの住民投票を求める市民の声を踏みにじってきた佐藤市政にストップをかける絶好のチャンスです。勇気ある金子さんの決断に心から拍手を送り、全力で押し上げていきたい。今こそ、党派を超え、市民の皆さんと力を合わせ、宇都宮市政を市民の手に取り戻しましょう。」と決意を述べました。



あいさつをする福田議員

絶好のチャンス  
市政を市民の手に取り戻す

### 安保法制の施行で 自衛隊と日本はどう変わるのか ～私たちが直面する課題～

日時：10月22日 土曜日  
18:30開場 19:00開演  
会場：雀宮地区市民センター ホール(100名)  
(宇都宮市新富町9-4 TEL028-654-1013)  
講師：井筒高雄さん  
主催：安保法制(戦争法)廃止!9条守れ!  
宇都宮市民の会  
TEL028-612-6130 FAX028-666-7255  
Email j00y0231@gmail.com

### ～導入の是非を問うラストチャンス～ LRT計画中止!! 大集会

とき 10月23日(日) 14:00～  
(13:00受付開始)  
ところ 栃木県総合文化センター  
メインホール  
(宇都宮市本町1-8 TEL028-643-1000)  
ゲスト 金子耳鼻咽喉科クリニック 院長  
金子とおる  
お問い合わせ先:金子とおる事務所  
TEL028-688-0080

9月議会終わる

日本共産党

一般会計・特別会計決算認定

# 荒川つねお議員 反対討論



討論する荒川議員

平成27年度、本市の豊かな財力が市民のくらしをしつかり支える効果を発揮した決算(税金の使い方)となったのか? 答は「ノー」である。

## 宇都宮市の財政状況 中核市44市の中

財政力指数	0.962	3位
経常収支比率	90.9%	27位
義務的経費比率	48.1%	10位
自主財源比率	63.8%	3位
実質公債費比率	4.7%	10位
歳入総額	2009億	6位

豊かな財力  
住民福祉の増進に  
生かされていかない

9月定例議会が同27日閉会。日本共産党は、22件の議案について、一般会計特別会計決算など三件について反対。荒川つねお議員が反対討論を行いました。(要旨)

### 第一の理由 LRT事業

LRT事業費に16億3900万円、その内11億3000万円が、事業進捗のめどが立たず繰越明許費となった。

これは、国交省ひも付きの日本交通計画協会の引いた「LRT先にありき」と「市民合意軽視」のルール上を大暴走するLRT整備計画の実態と弱点が表れたもので、今後ますます予算執行上の矛盾を市民の前にさらけ出すことになる。500億円以上かかる現計画よりも、その需要特性からして、百数十億円で同等以上の効果をもたらすBRTに転換を図ることが、本市最大の税金のムダづかいを防ぐことになると確信する。

### 第二の理由 再開発事業費

大手地区再開発事業に血税49億円、平成27年度は6.7億円が投入された。人口減少時代に超高層マンション建設は時代遅れ。建設するなら民間活力で行うべきだ。中心市街地のスポットよりも、面的に環境に配慮された都市再生と真の活性化にこそ税金は振り向けるべきだ。

### 第三の理由

#### マンパワー絶対不足

この10年間に市職員は31

9名も減少。非正規や委託に置き換えられた。現業部門では技術継承がままならないとの懸念もある。

市民のいのち、健康を守る重大なマンパワー不足を市長は自覚すべきだ。保健師・生活保護ケースワーカー、国指針の80%に満たぬ消防士などの増員、保育士確保と待遇改善、教職員の非正規労働の改善等、マンパワー強化の新年度予算措置を声を大にして要望する。

### 第四の理由 国保事業

市民は安倍政権の社会保障解体路線のもと医療・介護等様々な分野で深刻な危機に曝されている。例えば国保では、市民は高すぎる国保税と患者負担で苦しいに参加していません。参加した福田くみ子議員は、税の引き下げであり、国の保険者支援金はそこに使うべきだった。窓口負担が払えない人を救済する国保法44条の適用の拒否や保健事業の立ち遅れは「ないのはお金ではなく市民への思いやり」である。

### いま、必要なのは 市政の転換

佐藤市長の三期12年、LRT偏重路線から地方自治体の本旨である市民福祉の増進の路線への転換こそ、市民が市政に望んでいることである。

### 清原地区防災訓練

10月1日、作新学院大学グラウンドにおいて、清原地区防災訓練が行われました。東日本大震災のさい、市内の中でもとりわけ被害が大きかったこの地域では、防災訓練への取り組みもことさらに真剣です。情報伝達訓練では、自治会役員の皆さんなどが真剣な表情で、伝達方法の確認などを行いました。



消火器の扱いの体験をする地域の皆さん

「こうした訓練にもっと多くの方が参加できるように、身近な自治会単位で、あるいは少なくとも小学校単位で実施できるといいと思います。」と感想を述べていました。

日本共産党宇都宮市議員団

定例無料

## 市政・法律なんでも相談会

雇用問題・多重債務・生活保護・年金・国保・住宅  
道路・交通安全・その他なんでも・・・

◇日時 11月12日(土) いずれも

12月10日(土) 午後2時～4時

◇会場 日本共産党栃木県委員会 (東郷町21-12)

◇連絡先 日中 TEL632-2622 (党市議員団控室)

土・日・夜間 TEL634-8722 (党市委員会)

相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡をお願いします。